

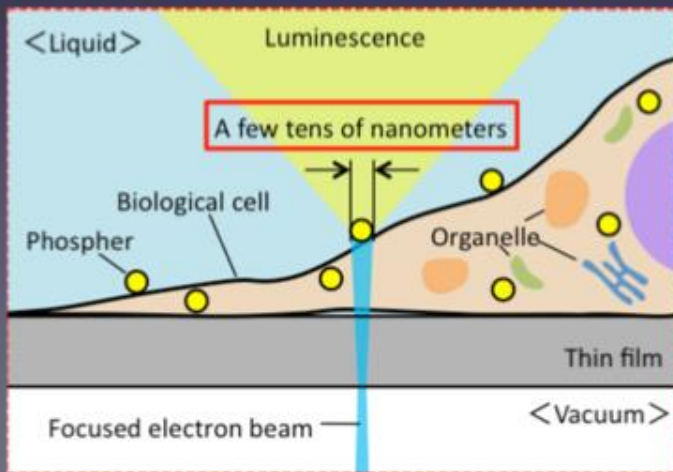
# 電子線励起微小光源による光ナノイメージング

川田善正、昆野 昭則、杉田 篤史、江上 力、  
岩田 太、居波 渉、小野 篤史

## 1. 研究の目的

本研究では、生きた生物試料を実時間で観察でき、数10ナノメートルの空間分解能を有する光ナノイメージング法の実現を目的とする。本プロジェクトでは研究会を実施し、課題の解決方法を議論する。

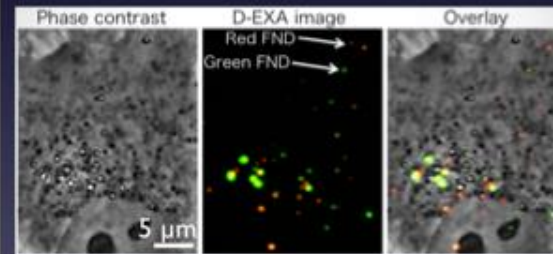
## 2. 電子線励起による観察の原理



透過電子線で色素を励起

## 3. 研究成果-細胞内顆粒の動態観察

生きたHeLa細胞の細胞内顆粒の動態観察を行ない、顆粒の軌跡の観察に成功した。また蛍光ナノダイヤモンド(FND)を用いてマルチカラーイメージングに成功した。



FNDの観察結果

## 4. 国際会議の開催状況 (1回実施)

12/02: Super Imaging 2013  
参加者: 260名 ホテルオークラ

